

特定外来生物

ボタンウキクサ

単子葉類 サトイモ科 *Pistia stratiotes*生態系被害防止
外来種リストの区分

緊急対策外来種

日本の侵略的外来種ワースト 100

世界の侵略的外来種ワースト 100

哺乳類

鳥

類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物

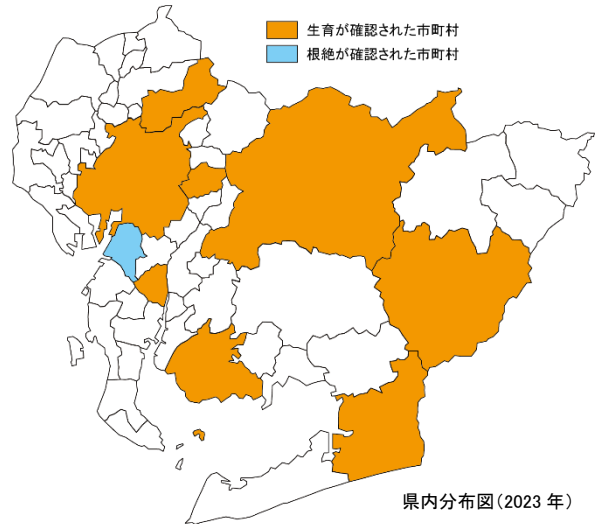
基礎情報

原産地

・南アフリカ

現在の分布

- ・世界では、アジア、オーストラリア、南北アメリカに移入分布している。
- ・国内では、関東および北陸地方から沖縄にかけてと小笠原諸島で確認されている。
- ・県内では、平野部や丘陵地の河川や池沼で確認されているが、継続的に生育している場所は少ない。



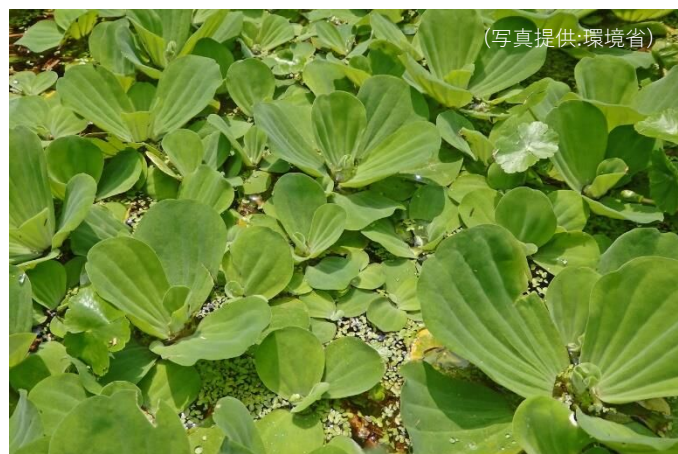
侵入の経緯

- ・1920年代に観賞用として沖縄・小笠原に導入された。関東以西では1990年代から広がった。
- ・ビオトープ用や金魚用の浮き草等として、熱帯魚店、ペットショップ、園芸店、ホームセンターなどで「ウォーターレタス」の名で広く流通・販売されていた。過去に販売されたものは、ほとんどが国内で繁殖させたものであったが、寒さに弱く、冬季に一時的に海外から輸入されることがあった。

形態

- ・浮遊性の多年生草本で水面に浮かぶ。
- ・株の直径は5~20cm、大きいものは30cmを超える。
- ・茎はごく短い。葉の間から、枝(走出枝)を放射状に伸ばし、先端に子株をつける。
- ・根は水上部分の3倍ほどの長さで、羽毛状に分裂して水中に垂れ下がる。
- ・葉は水平または斜め上に向かってつき、ロゼット状※に広がる。丸みを帯びた扇形で、先端部の縁にはやや凸凹がある。表側はビロード状の短い毛を密生して水をはじき、裏側には平行な葉脈が出っ張っている。
- ・葉のつけ根に長さ5mmほどの黄緑色の花をつけるが、小さくて目立たない。

※ タンポポの葉などのように、茎が伸びずに根際から葉が重なり合い、地面に接して放射状に広がっている状態



生育環境

・池沼、河川、水路などに生育し、日当たりの良い所を好む。無機養分の吸収力が強く、耐塩性がある。

生態・ライフサイクル

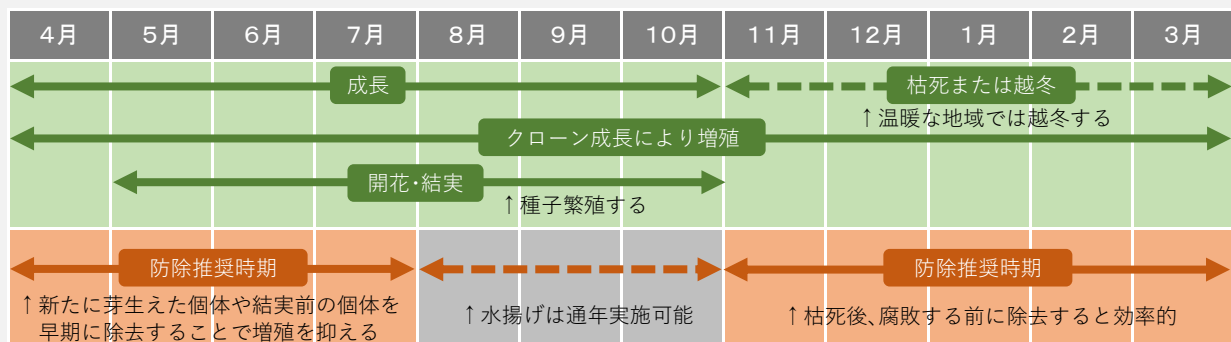
- ・開花期は5～10月(暖地では周年)。
- ・花は両性花(おしべとめしべの両方をもつ)。
- ・栄養繁殖が旺盛で、主に親株(株元)から水面に平行方向に枝(走出枝)を伸ばし、先端に子株を生じるクローン成長によって増殖する。特に日当たりの良い場所では、急激に増殖する。
- ・通常は無性生殖だが、花を咲かせて種子をつくる有性生殖でも繁殖する。
- ・浮遊性であり、水流によって運ばれ、流れ着いた先で増殖する。また、親株と子株をつなぐ走出枝はちぎれやすく、大雨時の増水や水流によって広範囲に拡散する可能性がある。
- ・耐寒性は低く、冬季に枯死が発生する。なお、かつては本州では越冬できないと言われていたが、1990年代から越冬事例が報告されるようになった。



(写真提供:環境省)

密生するボタンウキクサ

【ライフサイクル・防除推奨時期】



類似種との識別ポイント

- ・類似種として、浮遊性水草のホテイアオイ(外来種)、アマゾンチカガミ(外来種)がある。
- ・これらはいずれも繁殖力が強く、ため池全体を覆いつくすこともある。

ホテイアオイ(外来種)



①葉にツヤがあり、葉柄の基部がふくらむ。

②淡紫色の花をつける。

アマゾンチカガミ(外来種)



①葉にツヤがあり、円形。

②葉の裏面に気泡のう(浮袋)がある。

哺乳類

鳥類

は虫類

両生類

魚類

昆虫類

甲殻類

クモ類

貝類

植物

影響・被害

- ・繁殖したボタンウキクサが大雨で大量に流れると、河川や水路の流水阻害、取水口や排水口の閉塞、洪水の発生が懸念される。
- ・繁殖力が強く、ため池等の水面を覆いつくすため、在来水生植物の生育場所を奪う。また、光を遮り、在来水生植物の光合成を阻害するほか、水中への酸素供給の抑制、池沼の水温の低下が指摘されている。
- ・大量の植物体が枯死して腐敗すると水質や底泥の悪化を引き起こす。



ため池を覆いつくすボタンウキクサ

生育・被害の確認方法

- ・池沼、河川、水路、水田など、本種の生育の可能性がある場所を踏査し、生育個体を目視により確認する。
- ・既存の研究調査に関する文献や目撃情報をインターネットや図書館で探す。
- ・地域の住民や農業従事者、専門家などを対象に聞き取りやアンケート調査を行う。

防除方法

- ・侵入の初期、群落規模が小さいうちに除去することが有効である。
- ・手作業や重機による除去が一般的である。

推奨時期

- ・水温が上がり新たに芽生えた個体や、種子が結実する前の個体を早期(4~7月)に除去することで、夏季の増殖を抑えることが期待できる。
- ・生育場所が判明している場合、植物体が枯死または収縮する冬季は、効率的な除去(駆除作業の労力や、処分量の軽減)が期待できる。ただし、水質悪化を防ぐため、植物体が腐敗する前に行う必要がある。
- ・夏季は植物体が大きく成長するため、識別はしやすいが、防除に多大な労力が必要となる。



河川での防除作業
(シート上で水切りした後に袋詰め)

具体的な防除方法

- ・群落の規模が小さく個体数が多い場合は、他の生物に対しての影響が小さい手作業(たも網等による水揚げ)で除去する。
- ・個体数およびバイオマス(植物体の量)が多く大きな労力が必要となる場合は、重機や作業船により除去する。
- ・最終処理は、一般廃棄物として廃棄する(各自治体の基準に従う)。



防除作業に伴う断片の
流出防止のためのネット設置

【主な防除方法】

区 分	方 法	概 要
物理的 防除	手作業による除去	・たも網や熊手などを用いて、手作業により水揚げする。技術的に実施が容易。 ・ちぎれた植物体から再生するため、これを残さないよう留意する。 ・水面下の根ごと除去しないと再繁茂のおそれがある。 ・本種のみを対象とした選択的な除去が可能で、他生物への影響が少ない。 ・1度の除去作業で根絶に至る可能性は低く、年に複数回実施する必要がある。
	重機による除去	・ボートなどを用い水際に集積し、重機（バックホウ等）を用いて水揚げする。あるいは開放水面において作業船（水草回収船等）で収集する。 ・重機での作業後、残った断片や重機作業のできない狭い場所などは手作業により除去する。 ・選択的な除去が難しく、保全上重要な在来種も同時に除去してしまうおそれがある。

作業上の注意点等

- ・防除作業を行う前に、対象地の所有者・管理者の承諾を得る。必要に応じて、地域住民にも防除の目的や活動内容を周知する。
- ・生きたまま保管・運搬等することは原則禁止されているため要注意（植物の場合は完全に枯死させる必要がある）。地方公共団体の職員が処分のために一時的に行う特定外来生物の運搬は飼養等禁止の例外規定に該当するが、市町村が単独で長期的に防除を行う場合は、国による防除の確認を受けることが望ましい。なお、地域住民やボランティアが植物に関して小規模な防除を行う場合は、以下の要件をすべて満たせば保管・運搬が可能になる。

- ①小規模な防除を行う者が、当該防除に伴い運搬をするものであること。
- ②防除した当該植物を処分することを目的として、廃棄物の収集、運搬又は処分に供する施設に運搬すること。
- ③当該植物の落下、種子の飛散その他の理由による野外への逸出を防止するための措置をとっていること。
- ④防除を行う者が、あらかじめ当該防除に関する事項を掲示板、インターネット等を使用する方法により公表していること。

- ・栄養繁殖が旺盛で、一つの株からでも容易に増殖するため、必要に応じて作業箇所の下流や周囲にネットやオイルフェンスを張り、拡がらないようにする。
- ・除去した個体は袋に詰める。水を切る際は、散逸しないようブルーシートやアスファルト等の上で行う。
- ・作業後も定期的に確認を行い、再生が認められた場合は直ちに取り除く。

必要な法令上の手続き等

- ・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律に基づく防除の確認・認定の手続き（市町村単独の防除の場合）
- ・河川法に基づく河川区域内作業届、工作物の新築許可申請等（場所・方法によっては必要）

出典・参考資料

- ・侵入生物データベース > 日本の外来生物 > 維管束植物 > ボタンウキクサ（国立研究開発法人 国立環境研究所）
<https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/80790.html>
- ・日本の外来種対策 > 特定外来生物の解説 > ボタンウキクサ（環境省 自然環境局）
<https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/list/L-syo-11.html>
- ・日本の外来種対策 > 外来種写真集（環境省 自然環境局）<https://www.env.go.jp/nature/intro/4document/asimg.html>
- ・特定外来生物同定マニュアル 植物（環境省 自然環境局）https://www.env.go.jp/nature/intro/2outline/manual/10hp_shokubutsu.pdf
- ・特定外来生物ボタンウキクサ 奄美・沖縄版（環境省 沖縄奄美自然環境事務所,2017）
- ・地域と連携した外来植物防除対策ハンドブック(案)（国土交通省 河川環境課,2021）
- ・外来種等が農業水利施設に及ぼす影響と対策の手引き 令和5年3月版（農林水産省 農村振興局,2023）
- ・福岡県侵略的外来種防除マニュアル 2021ー福岡県侵略的外来種リスト 2018 における重点対策外来種 20 種ー（福岡県,2022）
- ・愛知県の外来種 ブルーデータブックあいち 2021（愛知県,2021） p.115 ボタンウキクサ（瀧崎吉伸・芹沢俊介）